

教育目標「自主自立の精神をもち、こころ豊かでたくましい生徒」



玉川中だより



第10号

令和4年12月21日発行

発行者 玉川村立玉川中学校長 板橋 敬史

☆ 2学期もお世話になりました

12月23日（金）で、2学期が終わります。

8月25日（木）から始まった82日間の第2学期でしたが、子どもたちはしっかり学習に励み、元気に運動し、友達と協力しながら生活することができました。

2学期は、地区の英語弁論大会を皮切りに県南中学校駅伝競走大会・県大会、3年生の修学旅行、2年生の職場体験、1年生の学習旅行、中体連の支部秋季大会・県南大会、第3回学校祭「山桜祭」、三者相談、など大きな行事が続きましたが、子どもたちの本気で真剣な取り組みが随所に見られ、本当に充実した日々となりました。

新型コロナウイルス感染症が終息しない現状では、まだまだ本来の学校の姿とは言えませんが、それでも感染予防対策を万全にした上で、できることをできる範囲で精一杯取り組んだ子どもたちです。そして、様々な学習や行事を通して、一回りも二回りも大きく成長しました。

2学期の終わりは、一年の終わりの時期でもあります。子どもたちには、今年一年や2学期までの学校生活や家庭生活を振り返りながら、自己の成長を再確認したり、新たな目標の設定に役立てたりしてほしいと思っています。



☆ 村の誇り

11月29日（火）に、玉川村文化講演会「地球のステージ2022」が行われました。これは、世界各地の被災地などで医療支援ボランティアとして活動している桑山紀彦さんによる音楽を交えた講演で、玉川村においては今回が7回目となりました。

大きなスクリーンに世界各地の映像や活動の様子が流れる中、自身の経験をもとにした語りと音楽で、夢を持つことの大切さや、人を敬うことの大切さ、誰かの役に立つことの尊さ、など、人間の生き方として参考にしたいことをたくさん伝えてくださいました。

講演が終わった後、生徒に感想を聞くと、「世界中を訪れてみたいと思いました。」「わたしも人を助ける仕事をしてみたいと思いました。」「友達や親を大切にしようと思いました。」「普通に学校に通えていることに感謝したいと思います。」などの声が聞かれました。子どもたちの心に響く講演会だったようです。

そして、講演会の後に、とても嬉しいことがありました。まずは、講演会が終わってすぐに講師の桑山さんに御礼の挨拶をしたところ、「素晴らしい子どもたちですね！ あんな風に一生懸命聞いてくれる中学生はなかなかいません。とても嬉しかったです。」という、ありがたい言葉をいただきました。

また、次の日に教育委員会を訪ねたところ、教育長さんと教育課長さんからも同じようなことを伝えていただきました。「子どもたちの態度が素晴らしかったです。」「講師の桑山さんが、玉中生のことをとてもほめていました。」「今年の玉中生は、どこに行ってもほめられるのです。玉川村の職員として自慢の子どもたちです。とても嬉しいです。誇りに思います！」

多くの方に見守られ、支えられながら、健やかに育っている子どもたちです。



2学期も様々なご協力をいただき、ありがとうございました。
よいお年をお迎えください。

謝 感